

三間町で様々な農作物を育てる

認定農業者（水稲・野菜・果樹） 黒田弘



農業大学校、JAの経験を総動員して農業を経営

黒田氏は、農業大学校で柑橘技術を学び、地元
のJAに就職して柑橘、イチゴ、水稲の指導員をして
きた。現在は様々な農作物を育てる黒田氏だが、就
農直後はナスの病気発生に苦しむ時期もあったとの
こと。また、気象変化や資材高騰などの環境変化に
も直面してきたが、新たな環境に適した品種や作付
体系に転換するなど柔軟に対処してきた。農業大学
校やJAなどの知見から、過去の方法に囚われず、着
実に経営をブラッシュアップしてきた模様。



黒田氏のハウス内で育てるナス

新たにスマート農業機械の導入

令和7年度に「自動操舵システム」を導入。「自
動操舵システム」とは、トラクタの運転をアシスト
することで、農作業の効率化や作業負担の軽減が期
待されるスマート農業機械である。

多様な農作物を育てる黒田氏は、野菜、水稲、柿
などの栽培スケジュールに重複する部分があり苦勞
してきた。本技術によって、作業を効率的かつ低労
力で行い、スケジュールに余白を生み出したことで
レジリエンスの高い経営を達成している。



慣れた手つきで「自動操舵システム」を操作

これから新規就農を目指す方へ

農業は、気象条件、資材費高騰、農作物価格の変
動などに左右され、必ず予定どおりには進みません。
また、関係者と協力してうまく農業経営をしていく
ことも求められます。一方で、消費者からの美味し
かったという反応や新品種の栽培など、奥が深く変
わらない魅力はたくさんあります。農業大学校で学
ぶこともおすすめしますので、農業を頑張ってくだ
さい。



トマトを収穫する黒田氏

農家になったきっかけ	農業大学校卒業後JAで勤務し、その後家業を継ぐ形で就農
栽培作物	水稲、ナス、トマト、柿
栽培面積	約300a
農業歴	約10年